

シングルポイントルーブリックを活用した振り返り面談用シート

選択してください (AR/UR/GR) () 講座 () 班 () 年 () 組 () 番号 名前 ()

		B 基準(良い)	具体的場面の記述	教師からの指導助言
		達成しているものには✓をいれましょう。	達成できた具体的場面や目標以上に達成した場面、できなかった場面などを書きましょう。また今後どのようにすると達成できますか、あるいはどのようにするとより良いものにできますか、合わせて書いてみましょう。	先生からのコメントをメモしましょう。
課題発見力	疑問力	<input type="checkbox"/> 疑問点を見出し、周囲や友人のサポートを受けながら自ら研究を進めることができる。		
	考究力	<input type="checkbox"/> 課題に取り組み、観察・実験を通して、答えを導こうとしている。		
研究遂行力	アプローチ、戦略	<input type="checkbox"/> 課題解決の方法をいくつか知っており、グループで情報を共有できている。		
	計画実行力	<input type="checkbox"/> 教師のアドバイスをもとに、的確な実験を計画することができる。		
データ活用力	データ判断力	<input type="checkbox"/> 情報処理の基本的スキルをおおむね習得し、複数のデータを比較し、結果の傾向や規則性等をいくつか見出した上で判断できる。		
	データ分析力	<input type="checkbox"/> 課題解決に必要な根拠について分析結果を提示することができる。		
多面的思考力	共創的態度	<input type="checkbox"/> 他班の生徒の意見を尊重・傾聴し、互いの強みや弱みに気づき、共同研究の可能性を考えることができる。		
	(メタ認知)	<input type="checkbox"/> 科学的に根拠に基づき、得られた成果を専門分野以外の視点からも評価しようとしている。		
科学的表現力	表現する力	<input type="checkbox"/> 校内の論文執筆様式やチェックリストに従った論文を概ね執筆することができる。		
	伝える力	<input type="checkbox"/> グループ内で相手の意見を理解し、自分の意見を適切に説明できる。		
科学英語運用力	英語で読み書きする力	<input type="checkbox"/> 作成した研究報告書をおおむね的確な表現で英訳することができる。		
	英語で聞き話す力	<input type="checkbox"/> 研究成果を原稿なしに英語で発表することができる。		

UR 文系(Ⅲ類)、GRの「データ活用力」は次の評価基準を利用する。

データ活用力	データ判断力	<input type="checkbox"/> 複数の文献や資料等から、首尾一貫した考え方をおおむね導き出すことができる。		
	データ分析力	<input type="checkbox"/> 課題解決に必要な根拠について分析結果を提示することができる。		

GR「共創的態度」は異文化感受性を用いた次の評価基準を利用する。

多面的思考力	共創的態度(異文化感受性)	<input type="checkbox"/> 自文化と他者の文化を比較し、異なる点ではなく共通点を見出すことができる。		
--------	---------------	---	--	--